

スコラ通信

The Journal of Scuola dei Bambini Vol.006 Jul. 2024

スペシャルリポート
オランダで開催
Montessori Inspiration Weekend

MEKがついに完成-開校

活動報告
みらいの学校、クラファン達成記念講演会
3施設合同進級式ほか

こ
の
こ
れ
が
こ
の
こ
れ
が
こ
の
こ
れ



Montessori Inspiration Weekend 2024

in the Netherlands

世界中のモンテッソーリアンらを鼓舞(Inspire)するために始まったMontessori Inspiration Weekend。今回のテーマは「小学校クラスでの生物におけるモンテッソーリ的アプローチ」
マリア・モンテッソーリのコズミック・ビジョンをコズミック・エデュケーションにどのように変換し、小学生の環境にどう反映させていくのか。教室内で子どもたちができる発表や発見の具体例という、かなり実践的な学びになりました。

文: 大谷育美

感動的 (Inspiring) なストーリー

見えない世界に気づかされた、Boのレッスン

私たちのモンテッソーリ教師(6-12歳レベル)養成トレーナーで、今回の講師でもあるBo Mynett はいつものように、私たちにストーリーを語り始めました。小学校課程ではとにかくストーリーが肝。神話、歴史、人物、特産品など、あらゆることをものがたり仕立てにし、子どもたちに届けます。3-6歳のクラスでは用いられない提示の一つで、6歳以降の子どもの発達特性である「想像力」の敏感性を最大限に生かすことができます。

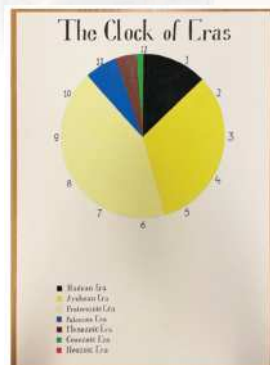
無数にあるストーリーの中でも私が一番好きな'History of Plants'「植物の歴史」。二番目のコズミック・フェーブル'Story of Life'「生命の物語」とはまた違った切り口で植物の歴史を見ていきます。

Bo: 「地球が誕生したときのお話、覚えてる? 初めは、火山があちこちで噴火して、溶岩と熱と、厚い雲、そして嵐、今の地球とは全然違ったよね。長い時間をかけて、地球が今の姿になっていったのを学んだよね。地球上

に、初めて生命が誕生したのはいつだった?

(The Clock of Era(地球史の時計)を見せて)そう、この時計でいう5時半くらいのところ。小さな、ゼリーのような、アメーバのような、一粒の生命が誕生したんだよね。その目にも見えないような単細胞生物は、この地球上で長いこと、海の老廃物を食べながら水をきれいにし、自分と同じようなものを生み出していた。それを長いこと繰り返していくうちに、ある時、多細胞生物へと進化していったね。その進化の過程で『自分自身で必要な栄養を作り出せるもの(Producer:生産者)』と『他を食べなければ生きていけないもの(Consumer:消費者)』に分かれていったよね。

そう、Producer(生産者)は植物に、Consumer(消費者)は動物へと進化していった。植物は、成長するのに太陽の光が必要だから、海の浅いところで繁殖したんだけど、なにせ動けないものだから、すぐに外敵、つまりConsumer(消費者)に食べられてしまう。その当時、全ての生命は海の中で多様に進化していたでしょ。だ



から植物は考えたの。食べられないため、子孫繁栄のためには、どうしたらいい?—『陸に出てみようか?』

そうして上陸した植物は、水と太陽という成長条件のもと、最初は水辺のそばから離れられなかったんだけど、地上には彼らを食べる宿敵(動物)はまだ居なかったから、地衣類として大繁栄を遂げたの。

そうしてある時、菌類の力を借りて『維管束』というものを形成することができたの。根を張って、茎を通して水を吸い上げる機能を身につけたのね! そうなると植物は水辺よりも少し遠いところで育つようになって、地球全体が綺麗な緑で覆われ、それはそれは美しかったと思うわ……(続く)」



このストーリーを初めて聞いたあと私は、世界の見え方がガラリと変わりました。こんなにも植物が、地衣類が、貴重な存在だったとは! それからと言うもの、川で、山で、鍾乳洞で、庭や公園、神社で、この地球上にあるあらゆる苔に気づき、感謝の念を抱くようになりました。「苔さん、ありがとう。君たちのおかげで今私たちは生きられています!」



五感で世界を学ぶ、レッスン後のGoing Out!

モンテッソーリ教育の小学校過程でいう‘Going Out’は、私たちが一般的に捉える「社会科見学」とは少し違っています。想像力の感性だけでなく、小学生の子どもたちはモラルや仲間意識、経験したことのないものへの探究心、世界と自分が繋がっていくことに敏感に反応し、発見やつながりを求めています。教室には、モンテッソーリ教具や美しいコレクションがたくさん並べられていますが、小学生はそれで満足しません。植物のことについて学んだなら、自分たちで外にでてリアルな世界と対峙します。

Bo:「日本の桜の時期は、地球上に色をもたらした被子植物を知るにはぴったりのOutingとなるでしょう」

数人の子どもだけで、満開の桜の下を歩きに行き、教室に帰ってきてどんなふうに感じたかをディスカッションする、花や木の様子を複数人で描くなど、様々です。身体で、五感で体験する機会を用い、花が散っている様子を見て、風はどこからくるの? 空の雲はどう影響しているの? 雨はなぜ降るの? 大気ってなに? 感じるからこそ学びにつながります。



When the child goes out, it is the world itself that offers itself to him. Let us take the child out to show him real things instead of making objects, which represent ideas, and closing them in cupboards. (...) The act of studying things is, in a way, meditation on detail. This is to say that the qualities of a fragment of nature are deeply impressed upon an individual.

子どもが外へ出るとき、そこにあるのは世界そのものです。概念や観念を表すものを「お製作」して、棚に片付けて終わり、ではなく、本物を見せ体験させるために外に出しましょう。(中略) 物事を学び深める行為は、ある意味、細かな部分の考察です。つまり、自然の断片の一つひとつが個人に深く印象づけられていくのです。

-Maria Montessori,
‘From Childhood to Adolescence’

Montessori Inspiration Weekend 2024

in the Netherlands

モンテッソーリ教育の Cosmic Education

生命のつながりに感謝し 次世代への貢献の気持ちを育む

小学校課程において欠かせないのがコズミック・エデュケーション。小学生のうちに学ぶ全ての情報や事象が教室内だけで完結するはずがありません。

“
子どもの世界は瑞々しく、いつも新鮮で、美しく、驚きと興奮に満ちています。

レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」
森田真生訳

子どもが感じるこの美しさ、驚きと興奮の邪魔をしないこと。子どもと本物の世界との繋がりを断たないための工夫こそ、大人がすべき援助ではないでしょうか。

今私たちが生きるこの世界は、あらゆる生命の偶然性とトライ&エラーの連続の結果です。植物が繁栄できたのは、陸に出るというリスクをとったから。たまたま菌類に出会い力を借りたからです。生命が繰り返してきた奇跡への感動と、感謝の念が湧き上がってこそ、本物の学びや次世代への貢献に繋がっていくのではないのでしょうか。

この結果に生きる今を感謝し、そして生命を繋げていく。人は生まれながらに貢献したい生き物です。大人だけであ

く子どもたちも、自分たちが自信をもてるところで参画し貢献し始めます。そのためにも、未来社会を担う子どもたちに仕えていきたいものです。



“
世界はいつも驚きに満ちている。目を開き、耳を澄ませば、自然は日々新たに、思わぬ出会いをもたらしてくれる。ルーペでコケを覗き込む。カミキリムシの標本をつくる。ドングリを集め、サワガニを追う。苔も虫も木もカニも、本をたどれば、みな一つの生命である。その意味で、あらゆる生き物との出会いは本来「再会」なのである。(中略) だからこそ僕たちは、「ひさしぶり」と「はじめまして」の混じり合った気持ちで、自然にこう問いかけることになる。

あなたはどこから来たの？

これからどこに向かうの？

だれも答えを知らないこの問いに直面したとき、子どもの心に物語が芽生える。彼らは決して大切な問題を、先送りにしようとはしないからである。

森田真生「センス・オブ・ワンダー」訳とその続き
—僕たちの『センス・オブ・ワンダー』—



引用:

Maria Montessori: FROM CHILDHOOD TO ADOLESCENCE/ Montessori-Pierson Publishing Company, 1948-2018

レイチェル・カーソン(2024)『センス・オブ・ワンダー』(森田真生訳)筑摩書房

森田真生(2024)『センス・オブ・ワンダー』訳とその続き『僕たちの『センス・オブ・ワンダー』』筑摩書房

2024年4月 MEK開校

2024年4月よりモンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州 (MEK) が北九州市小倉北区足立にて本格始動いたしました!

2023年7月にオランダでモンテッソーリ6-12歳の学びを修了し、日本に帰国してからMEKの開校まで目まぐるしい日々が続きました。

足立校舎で子どもたちと共にスクール生活を始めることができたのは、NPO法人Scuola dei BambiniそしてMEKの教育方針にご賛同いただき、多くの方々からの応援、ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州は、1月からプレMEKとして、月曜日から金曜日まで週5日間、子どもた

ちと共に過ごしてきました。そして、MEKの最初の拠点となる足立校舎がついに2月に完成し、新年度の4月からは4名の児童と共に日々を過ごしています。登校してから下校するまで、対話が途切れることがないほど、底知れない子どもたちの想像力と好奇心。知識を得るだけでは気づくことのできなかった、「世界はこんなにも美しく、驚きとたくさんの未知で溢れている」という自然とのつながりと喜びを、今を生き、日々様々な感情を表現してくれる子どもたちから学び、分かち合うことができます。

また、共に過ごす仲間が少しずつ増えていく中で、一人ひとり独立した個として活動しながら、自然や他者との関係、繋がりの中で時にぶつかりながらも、とてもいきいきと過ごしているように見えます。多様性が織りなす共生社会の中で、一人ひとりがその瞬間に感じた心の動きを大切に、これからも共に大きな世界を探究していきたいと思います。



MEK足立校舎初日の子どもたち



地理は実験がいっぱい



歴史の最初の授業・
46メートルのリボンを使った
「地球の歴史」



幾何学・直角三角形を見つける



MEK足立校舎
の教室



「一人の子どもを育てるには一つの村がいる」というアフリカの諺があるように、子どもたちの学びの場、そして出会いの場は教室内だけでは足りないでしょう。子どもたちの無限の可能性を開いていくために、今後もNPO法人Scuola dei Bambini、そしてMEKと関わってくれる皆様と共に愛のある社会をつくっていくことができれば幸いです。

文: 大瀬朝楓

2023年5月29日～2024年3月31日 九州ポリテクカレッジとの共同研究

古民家再生によるスクール拠点の
リフォーム & 미래の学校 vol.5

2023年5月29日～2024年3月31日の期間で、九州職業能力開発大学校(九州ポリテクカレッジ)建築科の学生さんの卒業研究のテーマとして、共同研究で足立校舎のフローリング施工を行いました。床材は大英産業(株)様から無償で提供いただき、3者協働で行いました。

施工の工程では、「未来の学校vol.5 フローリング張りワークショップ」(2024年1月30日)という形で子どもたちと一緒にフローリング張りをしたり、せっかくだから内壁も綺麗にしよう!と、白くペンキ塗り(2023年12月25日)をしたりして、空き家だった古民家が想いのこもったぬくもりある環境に生まれ変わりました



2023年12月22日 クリスマスコンサート

2023年12月22日、英語モンテッソーリ園カーサ・デ・バンビーニとの合同クリスマスコンサートをリバーウォーク北九州にて開催しました。6名のスコアラ・キッズが集まり、カーサ・デ・バンビーニのチャールズ先生ご指導のもと2ヶ月間練習を行い、英語の歌'It's a small world' 'Santa Clause is Coming to Town' 'Give a Little Love' 'Ferris Navidad'を歌いました。



2024年3月8日・9日 MEKお披露目会

2024年3月8日・9日に、モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州のお披露目会を開催。3月8日は校舎のリフォーム工事に携わっていただいた方々、9日は一般の方々をお招きし、2日間で約100名にご来訪いただき、エレメンタリーの室内環境を披露しました。



2024年3月17日 クラウドファンディングリターン 記念講演会

2024年3月17日に、クラウドファンディング支援者のお一人である吉田ゆかり様(よしだ塾小学部担当)がリターン講演会を企画・主催してくださり、「新時代の天才をつくる親の関わり方」(於:西日本工業大学小倉キャンパス大講義室)というテーマで、理事長の大谷育美がスピーカーとして登壇しました。

6～12歳レベルのモンテッソーリ教育について、また0歳から12歳までの発達段階について講話を行い、会場からは多くの質問が飛び交いました。



2024年3月20日 みらいの学校vol.6

子どもフリーマーケット
@PTA子どもフェスタ(於:三菱ケミカル)



2024年3月20日に、三菱ケミカル(株)で開催されたPTA子どもフェスタin八幡西(PTA子どもフェスタ(一社)北九州市PTA協議会・PTA子どもフェスタin八幡西主催)に「みらいの学校vol.6 子どもフリーマーケット」としてブース出店させていただきました。

参加した6名の子どもたちはそれぞれ自分の売上目標を決め、自分で販売するものを準備して臨みました。最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちも、後半は積極的にお客さんと話したり、自分の目標を伝えたりすることができるようになり、最後は売上金から仕入れ値を差し引いて利益の計算まで行いました。子どもたちから「またやりたい!」と、次の機会を希望する声もありました。



2023年4月6日 入学式

2024年4月6日に、0~3歳のRIVERWALKこどもの家、3~6歳のカーサ・デ・バンビーニ、そして6~12歳のモンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州、3施設合同入園・入学進級式を執り行いました。100名を超える大規模な式となり、それぞれの年齢のお子さんが自分らしく、保護者の方と共に式に臨む姿が見られました。



2023年4月5日 始業式

2024年4月5日に、MEK初の始業式を行いました。

4名の子どもたちとともに新たなスタートを切るこの日、メインガイド(担任)の大瀬からコズミック・フェーブル「宇宙と地球の誕生物語」をプレゼントしました。実験も交えながら話すストーリーに子どもたちも大人も釘付け。

始業式には校舎作りに携わって下さった九州職業能力開発大学校(九州ポリテクカレッジ)建築科様と大英産業(株)様、(株)大英工務店様がご参加くださいました。



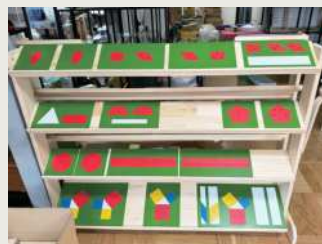
◆2023年度下期のその他の活動

12月13日~15日 MEKトライアル実施(5回目)

12月27日~29日 MEKトライアル実施(6回目)

2024年1月10日 プレMEKスタート

2月3日・4日 校舎引き渡し、エレメンタリー環境設定



エレメンタリー室内環境の設定

今後のイベント予定

MEKスクール見学&説明会

6月22日(土) 10:00-11:00
7月24日(水) 15:30-16:30 ※リクエスト開催
8月9日(金) 15:30-16:30 ※リクエスト開催
8月23日(金) 15:30-16:30 ※リクエスト開催
10月26日(土) 10:00-11:00
12月21日(土) 10:00-11:00

※ご入学をご検討されております方は、平日の16:00 - 17:00で随時見学を受け付けておりますのでご希望の方はページ下部のメールアドレス宛にお問合せください。

※サマースクール各期間中(A日程:7月24日(水)~7月26日(金)、B日程:8月7日(水)~8月9日(金)、C日程:8月21日(水)~8月23日(金))、15:30~16:30スクール見学&説明会のリクエスト開催が可能です。詳しくはお問合せください。



お申し込みフォーム

スコーラ・カフェ開催案内

大人向け

- ①6月29日(土)13:00-15:00
分数(算数)
- ②8月31日(土)13:00-15:00
生命の物語(生物)
- ③11月30日(土)13:00-15:00
円周率(幾何学)
- ④2025年2月1日(土)13:00-15:00
品詞の紹介、文の分析(言語)

スコーラ・カフェとは:

モンテッソーリ教育6-12歳過程の学びの内容、また、多様な教育や社会のあり方について考える会。2024年度も、子どもの多様な学びについて考えるきっかけとなるように、MEK足立教室にて対面形式で開催いたします。



お申し込みフォーム



前回の様子

MEKトライアルの案内

2024年サマースクール開催日程(各3日間)

A日程▶7月24日(水)~7月26日(金)

【テーマ】地球の歴史を探究しよう!

B日程▶8月7日(水)~8月9日(金)

【テーマ】人類の歴史を探究しよう!

C日程▶8月21日(水)~8月23日(金)

【テーマ】生物の進化を探究しよう!

モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州(MEK)では、入学希望者の方に向けて3日間MEKのスクール生活を体験していただけるMEKトライアルを行なっております。

長期休暇期間は、年長から小学4年生のお子さんを対象に、サマースクール、ウィンタースクールとしてMEKトライアルを開催しています!



前回の様子



お申し込みフォーム

〈MEKトライアルの特徴〉

モンテッソーリ小学校の生活と同様、長いワークサイクルの中で、自分の好きな活動に集中して取り組める!

モンテッソーリ教育の環境にある教具や教材を使って、手を使い、感覚的に学びを体験!

Going out!クラスを飛び出して、社会の中で学びを深める!

みらいの学校vol.7

「子ども国際マーケット」参加者募集中!

< 募集概要 >

日程:8月1日~3日(3日間)

8月1日・2日(10:00-12:00)

事前お集まり&チームビルディング

8月3日(10:00-15:00)マーケット当日

対象者:年長~中3

参加費:9,500円

定員:50名

昨年大盛況だった子ども国際マーケットを今年も開催します!

職業体験×国際交流をテーマにした本イベントは、北九州市の出店者さんブースに出店していただき、その中で子どもたちが販売体験をします。各ブースには外国人のスタッフが付き、バイリンガルな環境で行います。またチャリティ活動の一環として、各ブースの売上金の一部を海外の貧困地域へ寄付をします。今年は更に規模を拡大し、北九州市で大人気の体操教室「ワンキッズ先生」も加わって開催予定です!



お申し込みフォーム



パンフレット



前回の様子

日本の教育の未来にあなたの力を貸してください NPO法人Scuola dei Bambiniの 賛助会員を募集しています!

私たちと一緒に活動して下さる方、私たちの活動を応援して下さる方、賛助会員さんになりませんか?年会費3000円で賛助会員になっていただいた方には、年2回の会報誌の送付や、メールにてイベントや活動のお誘いをさせていただきます。

NPO法人Scuola dei Bambiniの身近な存在として、ご支援いただける方のご参加をお待ちしております!

募集締切2024年9月30日まで
ご登録はこちらから→



Scuola
dei
Bambini



NPO法人 Scuola dei Bambini
北九州市小倉北区吉野町12-19
会報誌Vol.006
2024年6月15日発行